



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日
東

上場会社名 株式会社 星医療酸器
コード番号 7634
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
配当支払開始予定日 —

上場取引所

URL <http://www.hosi.co.jp>

(氏名) 星 幸男

(氏名) 後藤 勇治

(TEL) 03(3899)2101

決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,735	3.9	380	24.8	395	23.8	269	27.0
2025年3月期第1四半期	3,594	7.7	305	△22.7	319	△21.7	212	△23.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 472百万円(23.9%) 2025年3月期第1四半期 381百万円(△16.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	86.42	—
2025年3月期第1四半期	68.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	24,961	19,078	75.3
2025年3月期	24,590	18,715	74.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 18,791百万円 2025年3月期 18,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,380	1.3	940	6.7	975	5.4	673	8.0	215.47
通期	15,260	1.0	2,070	4.4	2,140	3.7	1,476	0.9	472.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社(社名) 、除外 ―社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	3,420,000株	2025年3月期	3,420,000株
2026年3月期1Q	296,700株	2025年3月期	296,652株
2026年3月期1Q	3,123,304株	2025年3月期1Q	3,119,148株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は一部に足踏みが見られるものの、雇用・所得環境の改善が進む中で各種政策の効果もあって、緩やかに回復しております。

先行きにつきましても、緩やかな回復の継続が期待されるものの、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れや、米国の通商政策等が及ぼす外部環境の変化、さらには金融資本市場の変動などが景気を下押しするリスク要因として懸念され、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは取扱商品・サービスの安定供給とお取引先様と従業員の安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,735百万円（前期比3.9%増）、営業利益は380百万円（前期比24.8%増）、経常利益は395百万円（前期比23.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は269百万円（前期比27.0%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、新規取引先拡販が順調に推移し、医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。世界情勢を反映したエネルギーコスト上昇等に伴う材料・仕入価格上昇につきましては、市況を見ながらコスト上昇分を鑑みた適正価格への変更に注力し交渉を進めてまいりました。また物流・運送業界における2024年問題に対応すべく、円滑な組織体制づくりや人的資源の拡充にも努めてまいりました。

これらの結果、売上高は971百万円（前期比3.2%増）、セグメント利益は124百万円（前期比41.2%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズを第一優先として対応すると共に、きめの細かい営業活動の継続により「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」共に好調に推移いたしました。利益面では世界的な原材料価格の上昇やエネルギー関連の高騰が続いておりますが、自助努力による合理化に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は1,766百万円（前期比7.8%増）、セグメント利益は179百万円（前期比34.8%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備並びに消火設備の配管工事及び保守点検業務を行っております。保守点検業務及びそれに伴う修繕は安定した売上を確保しております。工事売上高は建築費の高騰により医療機関の設備投資の減少及び計画自体の中止・延期の影響を受け完成工事高が減少いたしました。

これらの結果、売上高は294百万円（前期比21.0%減）、セグメント利益は41百万円（前期比20.7%減）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所及び病院・施設への継続的な営業活動を図っております。若干ではありますが居宅介護支援事業所（国保連レンタル）の売上におきましては前年の売上を下回ってしまいましたが病院及び施設への販売に関しましては継続的な営業を行い順調に推移いたしました。

またデイサービス及び訪問看護事業所部門におきましては、都内3拠点を事業基盤として地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実を図りましたが、一部人員の欠員等に伴い若干ではありますが前年の売上を下回ってしまいました。

これらの結果、売上高は288百万円（前期比2.1%減）、セグメント損失は7百万円（前期セグメント損失0百万円）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷（東京都杉並区）」におきましては、24時間看護師在駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、感染症予防を主とした衛生管理を徹底することにより、入居者様やご家族様への「安心」・「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。

通所介護施設「あしつよ・文京（東京都文京区）」、「あしつよ巣鴨（東京都豊島区）」、「あしつよ王子（東京都北区）」におきましても、万全な衛生管理に努めつつ地元密着のサービスの提供と顧客サービスの多様化に対応することにより稼働率アップに取り組みました。

これらの結果、売上高は87百万円（前期比0.4%増）、セグメント損失は5百万円（前期セグメント損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は24,961百万円（前連結会計年度末比371百万円増）となりました。これは主に、投資有価証券が806百万円増加し、現金及び預金が110百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が382百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は5,883百万円（前連結会計年度末比9百万円増）となりました。これは主に、賞与引当金が94百万円、役員退職慰労引当金が90百万円増加し、支払手形及び買掛金が229百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は19,078百万円（前連結会計年度末比362百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が160百万円、その他有価証券評価差額金が203百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,625,818	10,515,137
受取手形、売掛金及び契約資産	2,871,491	2,488,925
棚卸資産	178,521	225,170
その他	109,926	125,104
貸倒引当金	△2,343	△2,027
流動資産合計	13,783,412	13,352,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,512,970	1,498,172
土地	3,634,607	3,645,607
その他（純額）	1,532,337	1,554,365
有形固定資産合計	6,679,915	6,698,145
無形固定資産	139,048	132,873
投資その他の資産		
投資有価証券	2,966,992	3,773,933
その他	1,025,347	1,006,785
貸倒引当金	△4,696	△2,120
投資その他の資産合計	3,987,644	4,778,598
固定資産合計	10,806,608	11,609,617
資産合計	24,590,021	24,961,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,748,621	2,518,728
未払法人税等	328,699	135,557
賞与引当金	214,948	309,860
その他	1,058,937	1,210,594
流動負債合計	4,351,206	4,174,740
固定負債		
役員退職慰労引当金	824,010	914,040
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	693,719	789,399
固定負債合計	1,522,874	1,708,584
負債合計	5,874,081	5,883,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	569,866	569,866
利益剰余金	17,339,833	17,500,443
自己株式	△838,246	△838,464
株主資本合計	17,507,633	17,668,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899,846	1,103,336
退職給付に係る調整累計額	22,113	20,529
その他の包括利益累計額合計	921,959	1,123,866
非支配株主持分	286,346	286,711
純資産合計	18,715,939	19,078,603
負債純資産合計	24,590,021	24,961,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,594,969	3,735,904
売上原価	1,802,394	1,846,324
売上総利益	1,792,575	1,889,580
販売費及び一般管理費	1,487,472	1,508,855
営業利益	305,102	380,725
営業外収益		
受取利息	2,461	6,992
受取配当金	7,370	9,088
受取家賃	2,737	630
仕入割引	1,368	1,465
雑収入	3,403	1,899
営業外収益合計	17,341	20,076
営業外費用		
支払利息	930	2,871
雑損失	1,724	2,076
営業外費用合計	2,654	4,947
経常利益	319,789	395,853
特別損失		
固定資産除却損	0	275
特別損失合計	0	275
税金等調整前四半期純利益	319,789	395,578
法人税等	105,427	126,106
四半期純利益	214,361	269,471
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,864	△456
親会社株主に帰属する四半期純利益	212,497	269,927

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	214,361	269,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171,908	205,224
退職給付に係る調整額	△5,163	△2,497
その他の包括利益合計	166,744	202,727
四半期包括利益	381,106	472,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380,678	471,834
非支配株主に係る四半期包括利益	428	364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	942,289	1,638,589	373,565	295,107	87,032	3,336,585	258,384	3,594,969
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	19,436	—	—	19,436	—	19,436
計	942,289	1,638,589	393,001	295,107	87,032	3,356,021	258,384	3,614,406
セグメント利益 又は損失(△)	88,511	132,847	52,783	△551	△498	273,092	32,010	305,102

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	273,092
「その他」の区分の利益	32,010
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	305,102

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	971,983	1,766,982	294,991	288,802	87,364	3,410,124	325,779	3,735,904
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	19,016	—	—	19,016	—	19,016
計	971,983	1,766,982	314,008	288,802	87,364	3,429,141	325,779	3,754,920
セグメント利益 又は損失(△)	124,965	179,017	41,873	△7,749	△5,064	333,041	47,683	380,725

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	333,041
「その他」の区分の利益	47,683
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	380,725

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	206,559千円	221,344千円
のれんの償却額	1,034千円	一千円